

7月の園だより

令和4年6月29日
杉並区立西荻北子供園
園長 石床 美穂子

「安全な生活のために」

園長 石床 美穂子

子どもたちの安全は、すべての人々が求めている願いです。子供園でも子どもたちが安全で安心できる環境であるように配慮し、意図的計画的に安全教育を行っています。

安全教育は、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つから構成されています。学校における安全教育は、子どもの命を守る上で欠かすことのできない最も重要な教育活動です。これは、子供園から小学校・中学校へと繋がっていきます。

幼稚園教育要領解説には、安全に関する指導として「情緒の安定を図り、遊びを通して安全についての構えを身に付け、危険な場所や事物などが分かり、安全についての理解を深めるようにすること。また、交通安全の習慣を身に付けるようにするとともに、避難訓練などを通して、災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにすること。」と示されています。子供園では、生活の中で十分に体を動かして遊ぶことを通して、その中で幼児自身が危険を予測し、回避する能力を身に付けることで安全な生活を送ることができるよう指導しています。また、毎月1回、避難訓練を行っています。その都度、災害の想定や時間、状況等を変え、子どもたちはもちろん、保育者も災害時に冷静に対応できるように訓練を繰り返しています。

6月15日に今年度初めての「引き取り避難訓練」を行いました。保護者の皆様には、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

「東日本大震災」「熊本地震」などの大きな災害後も日本各地で震度5を超える地震が起きており、家庭・職場そして子供園・保育園や小中学校などでも危機管理意識の重要性が認識されています。

今回の引き取り訓練をするにあたって、おたよりで“お迎えの仕方や準備など具体的に考えてみましょう”とお伝えしました。実際に起こっていない地震を想定して行動することには難しさもあると思いますが、実際にお迎えにきた保護者の方は、安全を第一に考え、動きやすい服装、両手が使えようなかばん、足を守るような履物など気を配っている方が多かったです。また、小さいお子さんは、おんぶや抱っこをするなどで安全で動きやすい方法をとっていました。防災頭巾をかぶった子どもたちと帰宅するとき、「地震のときに・・・」ということを話ながら帰った方もいらつしやったと思います。今回の引き取り訓練を振り返り、保護者の皆様も自分自身も頭を守るために帽子をかぶることやカバン(リュック)の中に何を入れておくとおいいのか等も考えて準備されることも必要であると思います。

園での子どもたちは、そう組だけでなく、初めての体験のうさぎ組やくま組も緊張感をもちながらしつかりと先生の話聞いていました。そして、幼いながらも周りの様子を見ながら、今はふざけない時、話を聞く時ということを感じていました。いつもと違う状況の中でも“先生といれば大丈夫”という安心感ももっていました。

これからも、子どもたちが“自分の命を守る”ことができる子どもであるように、園と家庭が連携しながら安全教育をしていきたいと思います。

子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

6月は追いかけっこ、ジャンダルジム等で体を動かしたり、バスマットやゴザでおうちを作ったりして園庭で過ごす気持ちよさを感じていました。気温が高くなると、泥遊びや水遊びに興味をもち、感触遊びを楽しみました。また、周りにいる幼児に関心をもちつようになり、保育者から少し離れて遊ぶ姿も出てきました。生活面では、毎日の身支度や弁当準備等、自分でできることをしようとする姿が多く見られています。しかし、疲れていたりと、保育者に見てほしい思いから甘えたりするときもあります。「手伝って。」「先生と（一緒に）やりたい。」と困ったときにも保育者に声を掛けられるようになってきています。

今月のプール遊びでは、個々の水慣れのペースに合わせて、水遊びの楽しさを感じることができるようになっています。

<今月のねらい>

○おもしろそうなこと、楽しそうなことに興味をもって取り組みむ。

○水遊びに喜んで参加し、水の冷たさや感触を楽しみながら開放感を味わう。

○保育者と一緒にプールの身支度や着替えをしようとする。

<家庭との連携>

水遊びやプール遊びをすると疲れやすくなります。ご家庭でゆったり過ごしたり、早めに就寝したりして、体調管理を心掛けましょう。プールの身支度では、洋服をただむことにも取り組んでいきます。ご家庭でも脱いだ服を表に返したり、ただんでみたりしてください。

4歳児 <ま組

6月は、忍者の引越（引越し鬼）で保育者や友達と一緒に体を動かすことを楽しみました。「忍者の引越しボーいどん！」の掛け声で走り出したり、おばけ（鬼）に捕まらないようにタイムングをみて動き出したりする姿が見られました。泥遊びでは、ダイナミックに遊んだり、その場にいる友達と「川を作るうよ！」「こっちに曲がったらいいね！」と声を掛け合って遊んだりすることを楽しんでいました。

<今月のねらい>

○自分の思いやイメージを様々な方法で表して遊ぶことを楽しむ。

○保育者や友達と触れ合ったり、関わったりする楽しさを感じる。

○水の冷たさや心地よさを感じながら、水遊びやプール遊びをすることを楽しむ。

今月は、暑い日が続くことが予想されます。プール遊びでは、水慣れの様子に合わせて活動を組み立て無理なく楽しめるようにしていきます。

<家庭との連携>

6月はお忙しい中、参観・個人面談にご参加いただきありがとうございました。普段の遊びの様子、ご家庭でのお子さんの様子を共有することができました。今後何かありましたら、お気軽に担任までお声掛けください。

暑い日が続いたり、プールに入ったりする中で、着替えをする機会が増えていきます。ぜひご家庭でも自分で着替えたり、洋服をただんだりして生活習慣を身に付けていけるようにしましょう。

5歳児 そう組

昨年度植えたジャガイモを収穫しました。大きく育ったジャガイモを見て、飛び跳ねて喜んだり、「こんなに穫れた！」と保育者に知らせたりし、収穫の喜びを全身で表現していました。子どもの「カレー食べたいなあ」という呟きからカレーパーティーをすることにになり、材料決め、買い物チーム決め、買い物、招待状づくり等いろいろいるなことに当日に向けて張り切って取り組んでいます。

ボール遊びは、個々のペースに合わせてながら水に慣れ、自分なりのめあてをもって取り組んでいくことができるようにしたいと思います。

＜今月のねらい＞

○自分なりのめあてをもって遊び、試したり、工夫したりしながら実現していこうとする。

○やりたいことや行事に向け必要なことを考えて、自分なりの見通しをもって進める。

○水の気持ちよさを感じながら、水遊びやボール遊びを楽しむ。

＜家庭との連携＞

暑い日が続いています。ご家庭で食事・睡眠を十分にとるよう、お子さんの健康管理にご配慮ください。また、今月は個人面談があります。ご家庭と園でのお子さんの様子を共有しながら、就学に向けてのお話もできればと思っています。事前に担任に知らせておきたいこと・話したいことがある場合はメモでお知らせください。

ほしグループ 長時間保育

＜子どもたちの様子＞

うさぎ組は、長時間保育で一緒におやつを食べるくま組のお兄さんお姉さんに親しみを感じ、くま組が来ると笑顔を見せたり自分から話しかけたりするようになりました。

くま組も、年下の幼児に親しみを感じて名前を覚え、「○○ちゃん、ばいばい！」と挨拶をしたり、遊具を貸してあげたりする等の、優しい姿が見られました。

そう組は、カララや床土積み木、シンガ積み木等、色々な積み木を使って、友達と一緒に作りたいものを相談し、じっくり取り組んでいます。

【職員について】

・6月6日より、岡田彩子先生が産休に入りました。

・7月1日より、杉本有優美先生が病気休暇～産休に入ります。会計年度任用職員として勤務していた成田希美先生が、病休代替・産休代替任用教諭となります。

・7月1日より、会計年度任用職員として、吉田雅子先生が勤務いたします。